

マツ陸上システム新バージョン「Athle32-2011」機能説明

2011年4月、マツ陸上競技大会運営システムAthle32は新たなシステムと機能を加えバージョンアップしました。旧来のシステム「賞状・記録証印刷システム」の利便性を向上し改良したシステム「新賞状・記録証印刷システム」のほか、より機能的になった番組編成システムなど「Athle32-2011」としてバージョンアップを行いました。その他新機能と昨年リリースし大反響をいただいております「新版下作成システム」の印刷テクニックについて説明いたします。

■新機能・改良点

【新システム】新賞状・記録証印刷システム [P. 2]

1. 番組編成に関する新機能 [P. 3-9]

- 1) 組分け条件指定
- 2) 第2レース、第2決勝（B決勝）
- 3) 同所属自動振分機能
- 4) 進出プラス者リストを番組編成完了時にも出力可能
- 5) 審判長の登録

2. コンソラー・記録入力に関する新機能 [P. 10-11]

- 1) 走高跳、棒高跳の結合処理機能
- 2) 複数レース処理一種目コードの異なる投てき競技を同時処理可能

3. 混成競技に関する新機能 [P. 12-13]

- 1) スタートリストに前種目終了時点での総合順位と得点を印字可能
- 2) 場内WEBシステムAthlewebに混成競技総合得点の途中経過印刷イメージを表示可能

4. 場内WEBシステムAthlewebの自動更新時動作を改良 [P. 13]

5. 対抗得点表印刷イメージをメタファイル（EMF）形式出力可能 [P. 14]

6. 日本陸連記録公認電子申請ソフト対応CSV形式出力について [P. 14-16]

■新版下作成システム印刷テクニック [P. 17-20]

- ・すべてのレースを一括して印刷、また用紙に空きがあれば次の競技を詰めて印刷する
- ・タイムレース総合成績欄の印刷
- ・トラック風力あり競技のタイムレース結合処理と印刷
- ・トラック競技途中時間（LAP）の印刷

■走高跳・棒高跳の試技放棄入力について [P. 21]

2月に開催された日本陸連「全国競技運営責任者会議」の競技部会で議題に上がりました走高跳・棒高跳の試技放棄「/」の入力に関する取り扱いについて解説しています。

■新機能・改良点

【新システム】新賞状・記録証印刷システム

現在みなさまにお使いいただいております賞状・記録証印刷システムが、装いも新たに新賞状・記録証印刷システムとして新しくなりました。従来システムから格段に機能アップされた賞状印刷システムが新機能満載でこの春リリースいたします。2011年4月のシステム更新で皆様のコンピューターにも実装されます。

概要説明

- ・従来システムでは印刷できなかった「縦書き」にも対応しています。
- ・印刷前に印刷イメージプレビューが可能。無駄な印刷をせず、印刷イメージを確認できます。
- ・背景にしか配置できなかった画像（写真、ロゴ、印鑑など）イメージを追加項目単位で配置可能。
- ・項目内フィット機能を実装。項目範囲からはみ出しそうな場合でも自動的に文字が小さくなります。
- ・対抗得点印刷機能を実装。対抗得点集計と連動して総合成績の賞状が作成できます。
- ・呼び出した氏名漢字などの文字に誤りがある場合に一時的に編集できる「項目編集モード」を追加。
- ・駅伝やロードレースではレースの完了を待たずに順次印刷が開始できます。

システムの起動は【メインメニュー】－【印刷管理】－【賞状・記録証印刷】から起動。
詳細については「新賞状・記録証印刷システム操作マニュアル」を参照して下さい。

【印刷管理】を選択

【賞状・記録証印刷】を選択

アイコンに「32」の文字が見えれば新システムです。

↓メイン画面

選択	No	氏名1	氏名2	所属	競技	レース	印順	順位	記録
	86	古川 達摩	ルカリ ヲタ	滋 賀・近畿大	男子 100m	決勝	1	1	10.00
	1001	矢川 陽介	ヤカ ヲカ	和歌山・大阪体育大	男子 100m	決勝	2	2	10.12
	304	佐野 貴彦	サノ ヲカ	京 都・三菱自動車京都	男子 100m	決勝	3	3	10.22
	88	松村 慎也	マツムラ シヤ	滋 賀・龍谷大	男子 100m	決勝	4	4	10.33
	551	當府 真樹	タツフ マキ	大 阪・大阪高	男子 100m	決勝	5	5	10.44
	403	日向 敦夫	ヒヤカ アツ	大 阪・大阪T.C	男子 100m	決勝	6	6	10.55

↓レイアウト編集画面

レイアウト編集画面

追加項目

1. 番組編成に関する新機能

1) 組分け条件指定

Athle32は近年大規模競技会だけでなく、県内の小規模な競技会でも採用されるようになり、記録会やクラブ大会などでも活躍するようになりました。このような状況のなかでニーズが高まってきたのが「通常の陸連ルールとは異なる組分けの方法」「第2レース」「第2決勝 (B決勝)」でした。これらに対応すべく改良を行い機能を実装いたしました。

そのなかでまずは「通常の陸連ルールとは異なる組分けの方法」について、「組分け条件指定機能」を搭載しました。これまでも「記録会モード」という名前で一部機能がありました。この機能を拡大し、様々な組分けの方法が可能になりました。また、トラック競技だけでなく、フィールド競技でも使用可能となりました。

新たに自動的に分けることのできる組分けと組内レーン配置

A : 「組」の配置

- ①記録の良い人から順に組分け・・・記録の良い順に1組から配置
- ②記録の悪い人から順に組分け・・・記録の悪い順に1組から配置
- ③組均等 (ジャバラ式) ... 記録が各組均等になるようにジグザグに配置する。
またこの組がそれぞれ何組になるかはランダムとなる。

組	1	2	3
ランキング (位)	1	9	17
	2	10	18
	3	11	19
	4	12	20
	5	13	21
	6	14	22
	7	15	23
	8	16	24

組	1	2	3
ランキング (位)	17	9	1
	18	10	2
	19	11	3
	20	12	4
	21	13	5
	22	14	6
	23	15	7
	24	16	8

組	A	B	C
ランキング (位)	1	2	3
	6	5	4
	7	8	9
	12	11	10
	13	14	15
	18	17	16
	19	20	21
	24	23	22

A, B, Cの組のグループができ、それぞれが何組になるかはランダム

B : 「組内」(レーン/試技順)の配置

- ⑪ランダム ... 何レーン/試技順に組内順位の何位が来るかはランダム
- ⑫記録の悪い順 ... 数字の小さいレーン/試技順から記録の悪い順に配置
- ⑬記録の良い順 ... 数字の小さいレーン/試技順から記録の良い順に配置
- ⑭セパレートレーンシード... トラック競技時最初の8レーン分の配置を上位・中位・下位に分けそれぞれランダム配置

レーン	順位
2	8
3	1
4	5
5	6
6	2
7	7
8	3
9	4

レーン	順位
2	4
3	3
4	6
5	1
6	8
7	5
8	7
9	2

レーン	順位
2	8
3	7
4	6
5	5
6	4
7	3
8	2
9	1

レーン	順位
2	1
3	2
4	3
5	4
6	5
7	6
8	7
9	8

レーン	順位	シードレーン
2	8	
3	7	下位2名
4	4	
5	1	上位4名
6	3	
7	2	
8	6	中位2名
9	5	

上・中・下位の各グループ内はランダム

A×Bの組み合わせでいろいろなシーンにあった組分けが可能になりました。もちろん、日本陸連ルール通りの組分けも今まで通り可能です。

1. 番組編成に関する新機能

この組分け条件指定は
レース区分が「0:予選」「4:第2レース」「5:第2決勝」
の場合に使用可能。

注1:「5:第2決勝」の場合は組内配置のみ使用可能

注2:「0:予選」には混成競技個々の種目も含む。

番組編成基礎情報入力フォームの【組分け条件指定】
にチェックを入れ、該当する分け方を選択して下さい。

2) 第2レース、第2決勝 (B決勝)

第2レース・・・強化記録会などレースを2レース行い、第1レースで走った選手を第1レースの記録や資格記録をもとに組み替えて再度レースを行う組分けを作成します。

●編成の考え方は2通り

- ・第1レースの記録をもとに第2レースを編成
- ・資格記録（申込時記録）と第1レースの記録の良いほうをもとに第2レースを編成

第2決勝・・・別名B決勝などとも呼ばれ、トラック競技等において、決勝8名に対して次の記録上位8名（前ラウンドの記録ランキング9位～16位）により編成されるレースを組分けします。

■レース区分が追加されます

第2レース、第2決勝はレース区分として追加されます。

レース区分は番組編成の際に「レース選択」欄に表示される「予選」「決勝」などのことです。

右図のように、「4-第2レース」「5-第2決勝」と表示されていれば使用可能です。

「4-第2レース」「5-第2決勝」と表示が無い場合は、【マスターメンテナンス】

－【DINST大会初期設定】を開き、そのまま【設定完了】ボタンを押して終了して下さい。

これで「4-第2レース」「5-第2決勝」と表示されるようになります。

この操作を行っても現れない場合や表現を変更したい（「2次レース」や「B決勝」等）場合は

【固定情報マスター】－【7競技情報4－レース区分】
の「4」「5」を直接編集して下さい。

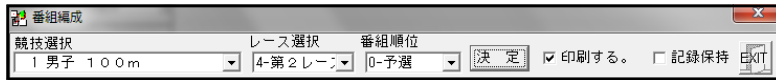
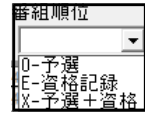
No.	データ
0	予選
1	準決勝
2	決勝
3	準々決勝
4	第2レース
5	第2決勝

1. 番組編成に関する新機能

■第2レースを実施する場合

例) 第1レースを予選を使って実施し、第2レースを第1レースの記録をもとにして作成
番組編成で「競技選択」－レース選択「第2レース」－番組順位「予選」と選択

レース選択で「第2レース」を選択すると、「前レース」だったところが「番組順位」
に変わります。ここからどの記録をもとに組分けをするか選択します。



【決定】 ボタンを押して番組を開始すると、ランキングが表示されます。

ここで第2レースに出場しない人を選択し番組から除外することができます(混成競技の最終種目と同様)。

Sq	No	氏名	所属	前R組・順	前R進出	前R記録	前Rノット値	資格記録	資格値	記録順位	Re	出/欠場
1	523	田中 裕之	大阪・大阪スポ	2組1位	-1	10.56	1056	10.49	1049	1	6	0-出場
2	1024	佐藤 亮	和歌山・北大阪大	1組1位	-1	10.56	1056	10.63	1063	1	22	1-欠場
3	90	坂下 泰弘	茨城・水戸AC	1組2位	-1	10.57	1057	10.36	1036	3	3	0-出場
4	816	山口 孝太郎	奈良・近畿外国語	2組2位	-1	10.57	1057	10.50	1050	3	7	1-欠場
5	243	松下 宏文	京都・二条クラ	3組1位	-1	10.66	1066	10.54	1054	5	12	0-出場
6	88	松村 慎也	京都・大原RC	3組2位	-1	10.71	1071	10.36	1036	6	2	1-欠場
7	87	山田 太郎	滋賀・大原RC	1組3位	1	10.60	1060	10.58	1058	7	17	1-欠場
8	97	石田 尚人	滋賀・東高津高	1組4位	2	10.62	1062	10.47	1047	8	4	1-欠場
9	88	古川 達摩	滋賀・近畿工業大	2組3位	3	10.66	1066	10.31	1031	9	1	1-欠場
10	242	藤田 良輔	京都・二条クラ	1組5位	4	10.67	1067	10.58	1058	10	16	1-欠場
11	245	三上 拓也	京都・堺国際大	2組4位	5	10.68	1068	10.56	1056	11	14	1-欠場
12	237	吉川 就介	京都・大原RC	3組3位	6	10.74	1074	10.49	1049	12	5	1-欠場
13	1003	田中 智也	和歌山・堺国際大	2組5位	7	10.78	1078	10.59	1059	13	19	1-欠場
14	76	飯島 和夫	滋賀・近江クラ	1組6位	8	10.82	1082	10.54	1054	14	11	1-欠場
15	29	千葉 亮太	滋賀・大阪学園大	3組4位	9	10.89	1089	10.62	1062	15	21	1-欠場
16	1001	矢川 陽介	和歌山・堺国際大	3組5位	10	10.92	1092	10.52	1052	16	8	1-欠場
17	457	佐々木 健	大阪・堺国際大	3組6位	11	10.99	1099	10.57	1057	17	15	1-欠場
18	542	原田 直樹	大阪・丸山AC	1組7位	12	11.00	1100	10.52	1052	18	10	1-欠場
19	1025	山野 学	和歌山・新宮商業高	3組7位	13	11.21	1121	10.58	1058	19	18	1-欠場
20	246	山口 尚人	京都・近畿工業大	3組8位	14	11.44	1144	10.65	1065	20	24	1-欠場

出/欠場選択欄
ここで「1-欠場」
を選択。

【OK】を押すと
番組編成基礎情報
入力画面になります。

注: 通常レースのこの画面で「欠場」を選択するとエントリー(競技者マスターの登録種目とこの種目のエントリー
ファイル)から削除されてしまいその種目に出場していなかったこととなります。

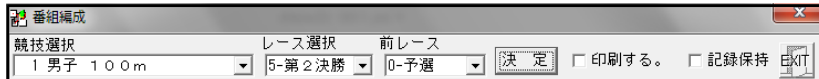
組・レーンの配置については、1-1)で解説した組分け条件指定を活用し組分けすることができます。
あとは通常番組編成と同じです。

■第2決勝を実施する場合

例) 100m予選3組2着+2で決勝と第2決勝(9位~16位のレース)を作成する

この場合、決勝を先に作成しても第2決勝を先に作成してもどちらでもかまいません。
決勝の作成方法は通常番組編成と同じです。

第2決勝の作成は、番組編成で「競技選択」－レース選択「第2決勝」－前レース「予選」と選択し、



【決定】 ボタンを押して番組を開始すると、ランキングが表示されます。

Sq	No	氏名	所属	前R組・順	前R進出	前R記録	前Rノット値	資格記録	資格値	記録順位	Re	出/欠場
1	523	田中 裕之	大阪・大阪スポ	2組1位	-1	10.56	1056	10.49	1049	1	6	1-欠場
2	1024	佐藤 亮	和歌山・北大阪大	1組1位	-1	10.56	1056	10.63	1063	1	22	1-欠場
3	90	坂下 泰弘	茨城・水戸AC	1組2位	-1	10.57	1057	10.36	1036	3	3	1-欠場
4	816	山口 孝太郎	奈良・近畿外国語	2組2位	-1	10.57	1057	10.50	1050	3	7	1-欠場
5	243	松下 宏文	京都・二条クラ	3組1位	-1	10.66	1066	10.54	1054	5	12	1-欠場
6	88	松村 慎也	京都・大原RC	3組2位	-1	10.71	1071	10.36	1036	6	2	1-欠場
7	87	山田 太郎	滋賀・大原RC	1組3位	1	10.60	1060	10.58	1058	7	17	1-欠場
8	97	石田 尚人	滋賀・東高津高	1組4位	2	10.62	1062	10.47	1047	8	4	1-欠場
9	88	古川 達摩	滋賀・近畿工業大	2組3位	3	10.66	1066	10.31	1031	9	1	1-欠場
10	242	藤田 良輔	京都・二条クラ	1組5位	4	10.67	1067	10.58	1058	10	16	1-欠場
11	245	三上 拓也	京都・堺国際大	2組4位	5	10.68	1068	10.56	1056	11	14	1-欠場
12	237	吉川 就介	京都・大原RC	3組3位	6	10.74	1074	10.49	1049	12	5	1-欠場
13	1003	田中 智也	和歌山・堺国際大	2組5位	7	10.78	1078	10.59	1059	13	19	1-欠場
14	76	飯島 和夫	滋賀・近江クラ	1組6位	8	10.82	1082	10.54	1054	14	11	1-欠場
15	29	千葉 亮太	滋賀・大阪学園大	3組4位	9	10.89	1089	10.62	1062	15	21	1-欠場
16	1001	矢川 陽介	和歌山・堺国際大	3組5位	10	10.92	1092	10.52	1052	16	8	1-欠場
17	457	佐々木 健	大阪・堺国際大	3組6位	11	10.99	1099	10.57	1057	17	15	1-欠場
18	542	原田 直樹	大阪・丸山AC	1組7位	12	11.00	1100	10.52	1052	18	10	1-欠場

するとすでに1位~8位、17位以降の
出/欠場選択欄には「1-欠場」が登
録されています。

【OK】を押して番組編成基礎情報入力
画面へ進めて下さい。

あとは通常の番組編成と同じです。

1. 番組編成に関する新機能

3) 同所属自動振分機能

この機能は、複数組存在する組分け（予選、準決勝、第2レースなどレースコード「0」「1」「3」「4」を使用して行われた組分け）で、同所属（ここでは所属団体）競技者が同一組に入っている場合、組の力の均衡を保ちながら、かつルールに沿ったかたちで自動的に他の組へ振り分けを実施する機能です。

わかりやすい表現を使うと「同じ組で同一所属が重なっている場合に、ボタンを押すと解消してくれる機能」ということとなります。

●この機能の注意点

とても便利な機能です。しかし、人間が番組編成をする場合と、コンピューターが機械的に番組編成をする場合ではその手順に違いがあります。人間は、組分けで所属が重なっている場合に、対象者を移動させようとするすると移動させた先の組のことを考えながら移動させますが、コンピューターはそういう訳にはいきません。現在の状況において、この1カ所を解消するために移動を行います。そして移動後さらにそこから次の重複箇所について処理を行っていきます。1度動いた選手でも、終わってみれば結果的にもとの組に戻ってきている場合もあります。人間が手作業で行った移動方法とは異なる移動の仕方になる場合があります。ボタン一つで重なりが解消できるからといって「番組編成員がいらない」という訳では決してありません。これらをご理解いただいた上でご使用をお願いいたします。

■使用方法

番組編成基礎情報入力フォーム画面の左下にある「同所属自動振分機能を使用」にチェックを付けます。

このチェックは番組編成画面を閉じるまで有効となります。またいつでも外すことができます。

必要事項を登録し、番組編成マニュアル操作画面まで移動します。

【同所属F9】 ボタンをクリックします。従来このボタンを押すと同所属リストが印刷されましたが、同所属自動振分機能が有効の時は、同所属競技者ウィンドウが表示されます。

1組 (7人)					2組 (7人)				
SQ	No	氏名	所属	記録	SQ	No	氏名	所属	記録
1					1				
2	84	田代 英一	京 都・二条クラブ		2	817	土田 太郎	奈 良・近畿外国語大	
3	1002	柳沼 陽介	和歌山・大阪スポーツ大		3	90	坂下 泰弘	茨 城・水戸A C	
4	742	森川 克俊	兵 庫・神戸中央高		4	658	藤縄 洋介	兵 庫・神戸国際大	
5	266	柴崎 走太	京 都・東洛西高		5	437	佐笠 勝哉	大 阪・近畿外国語大	
6	523	田中 裕之	大 阪・大阪スポーツ大		6	265	内田 昌倫	京 都・鳥羽高	
7	458	奥田 真治	大 阪・堺国際大		7	801	中野 良彦	兵 庫・尼崎市陸協	
8	55	佐藤 耕平	高 知・土佐RAC		8	810	南 和彦	奈 良・帝塚山大	

1. 番組編成に関する新機能

同所属競技者ウインドウでは、何組にどの所属団体の選手が何名いるかが一目でわかります。



この例の場合、「大阪スポーツ大」が1組で2名、「近畿外国語大」が2組で2名いることがわかります。

人数にカーソルを合わせると該当する選手の氏名とランキングがわかります。

- ・許容順位差

自動振り分けの条件となります。この値を「1」とすると、この番組編成の際のランキング順序±1位の人のみを対象として振り分けを行います。しかし、「1」では解消されない場合もありますから、最初は「1」から初めて解消されない場合は「2」「3」と値を大きくしていけば解消することができます。

- ・レーン位置基準

入れ替える際の順位を人ではなく組、レーン（オーダー）にもともといた人の順位を基準に探して入れ替えを行います。

- ・選択所属のみ

現在選択している所属のみ振り分けを実施します。

【自動振分】 ボタンをクリックすると自動的に振り分けが始まります。



振り分けが終了すると「1(0)」と表示されます。()内はもととその組にいた人数を表します。カーソルを合わせると画面下側に誰を誰と交代させたかが表示されます。

この情報は**【変更履歴】** ボタンを押すことで印刷可能です。
↓ 変更履歴



だぶりが解消しない時はメッセージが表示されます。この場合、許容順位差の値を1つ大きくし、再度自動振り分けを行って下さい。

すべてのダブりが解消された時点ではまだ入れ替えが反映されていません。**【元に戻す】** ボタンを押すことでいつでも元に戻すことができます。この入れ替えで良い場合は**【結果適用】** ボタンを押します。**【閉じる】** は自動振り分けを中止します。



【結果適用】 ボタンを押した後は、だぶりの解消された同所属チェックリストがこれまで同様表示されます。

【終了】 ボタンを押して番組編成画面に戻れば同所属の重なりは解消しています。

この後は通常通り番組編成を完了させれば終了です。

1. 番組編成に関する新機能

4) 進出プラス者リストを番組編成完了時にも出力可能

次ラウンド番組編成開始時に、進出条件に+α（記録による進出）の設定がある場合は必ず進出プラス者リストが出力されます。

このリストは場内WEBシステムAthlewebからも閲覧でき、アナウンサーなどが活用していると思います。

しかしこれまでは、

- ・フィールド競技の場合出力されない
- ・救済など手作業で番組へ入れた選手の名前が載らない

などの問題がありました。

そのため、従来通りトラック競技では番組編成開始前にこのリストが出力されるのに加え、番組編成を完了して番組編成リストを印刷する際に再度出力するかどうかを選択できるよう変更しました。

リスト出力日付:2011- 4-13 (水) 時刻:17:25:44 Page: 1

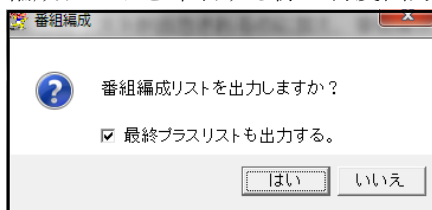
進出プラス者リスト (チェックリスト)

* 男子 100m 決勝 *

測定区分:01-電計1/100秒 (3組 - 2着 +2)

番	組	順	レーン	No.	氏 名	所属団体名	予選記録
1	1	- 3	[6]	87	山田 太郎	滋 賀・大原RC	10.60
2	1	- 4	[7]	97	石田 尚人	滋 賀・東高津高	10.62
以上決勝進出							

プラス者の人数は[2人]です。



完了終了時番組編成リストを出力するメッセージに「**最終プラスリストも出力する**」チェックボタンを新設。チェックを付けて【はい】をクリックすると再度進出プラス者リストを出力することができます。

↓救済者が追加された新しいリストが印刷される。

進出プラス者リスト (チェックリスト)

* 男子 100m 決勝 *

測定区分:01-電計1/100秒 (3組 - 2着 +2)

番	組	順	レーン	No.	氏 名	所属団体名	予選記録
1	1	- 3	[6]	87	山田 太郎	滋 賀・大原RC	10.60
2	1	- 4	[7]	97	石田 尚人	滋 賀・東高津高	10.62
3	2	-	[3]	58	高田 恵	滋 賀・大阪経情大	DNF/Q R
以上決勝進出							

プラス者の人数は[3人]です。

※ [R] Relief 審判長救済

また、これまで出力できなかった、フィールド競技の予選から決勝に進出する際のプラス進出者リストも同様の方法で出力できるようになりました。

↓フィールドのプラス進出者リスト

進出プラス者リスト (チェックリスト)

* 男子 走高跳 決勝 *

測定区分:00-フィールド(2組 - 標準試技は3回目)

番	組	順	試技	No.	氏 名	所属団体名	予選記録
1	1	- 7	[11]	1034	小向 耕平	和歌山・ドルフィンAC	1m70
2	1	- 8	[1]	815	山根 勇介	奈 良・帝塚山大	1m70
以上決勝進出							

プラス者の人数は[2人]です。

↓プラス者がいない場合 (全員通過標準突破の場合)

進出プラス者リスト (チェックリスト)

* 男子 走高跳 決勝 *

測定区分:00-フィールド(2組 - 標準試技は3回目)

番	組	順	試技	No.	氏 名	所属団体名	予選記録
プラス者の人数は[0人]です。							

1. 番組編成に関する新機能

5) 審判長名の登録

最初のラウンドの組分けをする場合に、競技ごとに番組編成基礎情報入力フォームを開いたときに毎回同じ審判長名を入力するのが非常に面倒でした。

そこで、あらかじめ審判長名を登録しておいて、自動的に該当の審判長の名前を呼び出してくれるよう改良を行いました。

【メインメニュー】－【番組編成】－【審判長一括設定ツール】を起動します。

初期状態では下図のようになっています。

	氏名	コード	コード	選択
記録主任	記録主任名			●
審判長1	トラック審判長名	001	～ 069	●
審判長2	跳躍審判長名	070	～ 079	●
審判長3	投てき審判長名	080	～ 099	●
審判長4	混成競技審判長名	200	～ 299	●
審判長5	トラック審判長名	601	～ 699	●
審判長6	道路競技審判長名	100	～ 199	●

記録主任と審判長1～6とありますが、記録主任はすべての種目で共通。審判長はコード（種目コード）の範囲によって適用範囲が決まります。

例えば図の例では

審判長1は001～069の範囲＝トラック競技全般

審判長2は070～079の範囲＝跳躍競技全般

となります。

このツール自体は、すでに番組編成の終了しているレースに対して、審判長を後から一括で登録（設定）するものです。「選択」欄に「●」が付いている項目について【実行】ボタンを押すと一括登録が行われます。

最初のラウンドの番組編成の前に、このツールの氏名欄にコードの範囲に該当する審判長名と記録主任名を入力して【保存終了】しておくことで、番組編成をしたときに自動的に審判長名と記録主任名が入力されます。

登録しておくことで...

自動的に入力される。

次ラウンド以降はAthle32-2010新機能説明でも解説したように、最初のラウンドに登録されている審判長名と記録主任名が自動的に引き継がれます。

2. コンソラー・記録入力に関する新機能

1) 走高跳、棒高跳の結合処理機能

タイムレースの場合などに使用する結合処理機能。これまでトラック競技と距離系のフィールド競技でしか使用することができませんでした。今回この機能が拡張され、走高跳・棒高跳でも結合処理ができるようになりました。記録会等で走高跳が2ピット以上で行われる場合、入力する高さが同じである事を条件に記録入力完了後に結合して総合順位を出すなどの使い方ができます。

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85
3	1	204	斎藤 健志郎	京都・京都クラブ	1m80	X0	XX0	0	0	XXX
7	2	808	中谷 暢一	奈良・帝塚山大	1m75	0	0	0	XXX	
2	3	454	森田 裕太	大阪・堺国際大	1m75	0	X0	0	XXX	
12	4	896	高橋 大介	茨城・水戸AC	1m75	0	0	X0	XXX	
5	5	56	山本 啓	滋賀・大津高	1m75	X0	0	X0	XXX	
10	6	421	玉井 伸也	大阪・大阪陸協	1m75	XX0	XX0	X0	XXX	
11	7	1034	小向 耕平	和歌山・ドルフィンAC	1m75	X0	0	XX0	XXX	
1	8	815	山根 勇介	奈良・帝塚山大	1m70	0	X0	XXX		
4	9	699	濱名 慶匡	兵庫・順大	1m65	0	XXX			
9	10	478	井奥 一樹	大阪・淡木高	1m65	XX0	XXX			
6		492	高岡 亘	大阪・奈良体大	1 NM	XXX				
8		202	藤原 英一	京都・宮津クラブ	1 NM	XXX				

例) 走高跳で予選を使い、2組に分けて実施
両方のバーの上げ方=入力した高さは同じ

1組は1m85が最後の高さ
2組は1m80が最後の高さ

最後の高さは異なっても結合後は
最後の高さが高い方に統一される。

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85
8	1	838	山本 義正	奈良・関東大	1m75	0	0	0	XXX	
1	2	821	西村 和洋	奈良・奈良体大	1m75	X0	0	0	XXX	
12	2	201	藤原 賢二	京都・京都クラブ	1m75	0	X0	0	XXX	
6	4	738	野花 秀人	兵庫・東播工業高	1m75	XX0	0	X0	XXX	
3	5	855	本多 光一郎	兵庫・神戸大	1m75	0	XX0	XX0	XXX	
5	6	725	藤田 晃輔	兵庫・滝川第二高	1m65	X0	XXX			
9	6	895	小林 俊	茨城・水戸AC	1m65	X0	XXX			
2		459	鈴木 良太	大阪・堺国際大	1 NM	XXX				
4		302	福島 孝	京都・京都西洋高	1 NM	XXX				
7		470	小菅 優人	大阪・大体大浪商高	1 NM	XXX				
10		271	大川 真司	京都・同志社高	1 NM	XXX				
11		107	大原 壮史	滋賀・滋賀陸協	1 NM	XXX				

結合は1組でも2組でもOK
【結合】ボタンを押すと
「決勝」のレースができ
あがる。

結合後はできあがった決勝レースを開き、忘れずに順位付けを実施する。
結合直後は総合順位がまだついていない

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85
1	815	山根 勇介	奈良・帝塚山大	1m70	0	X0	XXX			
2	454	森田 裕太	大阪・堺国際大	1m75	0	X0	0	XXX		
3	204	斎藤 健志郎	京都・京都クラブ	1m80	X0	XX0	0	0	XXX	
4	699	濱名 慶匡	兵庫・順大	1m65	0	XXX				
5	56	山本 啓	滋賀・大津高	1m75	X0	0	X0	XXX		
6	492	高岡 亘	大阪・奈良体大	1 NM	XXX					
7	808	中谷 暢一	奈良・帝塚山大	1m75	0	0	0	XXX		
8	202	藤原 英一	京都・宮津クラブ	1 NM	XXX					
9	478	井奥 一樹	大阪・淡木高	1m65	XX0	XXX				
10	421	玉井 伸也	大阪・大阪陸協	1m75	XX0	XX0	X0	XXX		
11	1034	小向 耕平	和歌山・ドルフィンAC	1m75	X0	0	XX0	XXX		
12	896	高橋 大介	茨城・水戸AC	1m75	0	0	X0	XXX		

2. コンソラー・記録入力に関する新機能

2) 複数レース処理—種目コードの異なる投てき競技を同時処理可能

この機能は出場人数が少ない場合や投てきなどで複数の種別（投てき物の重さの違う）競技を行う場合に非常に便利です。これまでは、種目コードが同じ場合だけ複数レース処理で処理できていましたが、投てき競技に限り、種目コードが異なっても同時に処理できるように変更しました。

砲丸投

一般・高校・中学
を一緒に入力したい！

No	種目	性別種別	レース組	条件	日付	コール	開始	開始実	終了	使用	測定	7DP
136	100m	男子	決勝		2011-04-13	15:50	16:10				電計1/100秒	
137	砲丸投(7.260kg)	男子一般	決勝		2011-04-13	13:00	13:30				フィールド	
138	砲丸投(6.000kg)	男子高校	決勝		2011-04-13	13:00	13:30				フィールド	
139	砲丸投(5.000kg)	男子中学	決勝		2011-04-13	13:00	13:30				フィールド	

この場合「男子一般砲丸投」をまず開き、「複数」ボタンを押します。

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	1回目	2回目	3回目	順(3)	4回目	5回目	6回目
1	837	丹羽 敦巳	奈良・二条クラブ									
2	678	富永 浩史	兵庫・大阪学園大									
3	524	船登 尚典	大阪・大阪スポーツ大									
4	4	小川 行典	滋賀・近畿外国語大									

複数レース選択画面が表示され、同時に開くことのできるレースの一覧が表示されます。

複数レース選択

- 男子 砲丸投(7.260kg) 決勝
- 男子 円盤投(2.000kg) 決勝
- 男子 ハンマー投(7.260kg) 決勝
- 男子 やり投(0.800kg) 決勝
- 女子 砲丸投(4.000kg) 決勝
- 女子 円盤投(1.000kg) 決勝
- 女子 やり投(0.600kg) 決勝
- 女子 ハンマー投(4.000kg) 決勝
- 男子 砲丸投(7.260kg) 予選1組
- 男子 砲丸投(7.260kg) 予選2組
- 男子 ハンマー投(7.260kg) 決勝
- 男子 砲丸投(6.000kg) 決勝
- 男子 中学 砲丸投(5.000kg) 決勝

この中から、男子高校砲丸投決勝と男子中学砲丸投決勝を選択して【決定】ボタンをクリックします。

色違いで3つのレースが表示されます。この状態で記録入力を開始して下さい。

順位	No.	氏名	所属	記録	コメント	レース	1回目	2回目	3回目	順(3)	4回目	5回目
1	837	丹羽 敦巳	奈良・二条クラブ			1						
2	678	富永 浩史	兵庫・大阪学園大			1						
3	524	船登 尚典	大阪・大阪スポーツ大			1						
4	4	小川 行典	滋賀・近畿外国語大			1						
1	472	中山 公博	大阪・近畿大阪高			2						
2	94	土田 晃寛	滋賀・びわ湖商高			2						
1	1005	谷津 慶史	和歌山・明和中			3						
2	747	浅野 喜洋	兵庫・広陵中			3						

色違いで区別できる

入力終了後は、順位付けを通常通り1度行くと、レース毎に1位から順位が付きます。

完了終了、印刷するを選択すると、この場合は3種類の記録表が印刷されます。

注意：この機能は混成競技では使用できません

3. 混成競技に関する新機能

3. 混成競技に関する新機能

1) スタートリストに前種目終了時点での総合順位と得点を印字可能

昨年の更新で最終種目の番組編成リストに前種目までの総合得点と順位が印字されるようになりましたが、さらにスタートリストにも印字することができるようになりました。ただし、1種目終了する毎に総合得点を必ず集計する必要があります。

【スタートリスト】 コール完了 Time:16:25:06 Page: 1

第41回 マット陸上競技選手権大会
兼 第3回 日本陸上競技選手権大会地区予選会
主 催: (財) 日本陸上競技連盟
主 管: 大阪陸上競技協会
競技場: 大阪市長居陸上競技場

* 女子 七種やり投 1組 *

測定区分: フィールド 2000-08-27 15:50 コール完了 16:30 競技開始

欠場	試順	No.	氏 名	所属団体名	総合得点
	1	248	坂口 友紀 サカガチ ユキ	京 都・吉原高 ヨシノカミ	4位 4024
	2	825	前田 めぐみ マエダ メグミ	奈 良・川北高 カワキタカミ	9位 3440
	3	56	白井 由理 シライ ユリ	滋 賀・びわこクラブ ビワコクラブ	8位 3445
欠場	4	213	谷川 かおり タニガハ カオリ	京 都・大阪スポーツ大 オホサカスポーツダイ	
	5	275	井上 美鈴 イノウエ ミスズ	京 都・京都文芸高 キョウトブンギカミ	7位 3469
	6	625	城山 沙織 シロヤマ サオリ	兵 庫・兵庫中央高 ヒョウゴチュウカウ	5位 3986
	7	227	片瀬 京子 カタセ キョウコ	京 都・大阪スポーツ大 オホサカスポーツダイ	6位 3847

前種目までの総合得点と順位が印字される

このスタートリストへの印字は最終種目のみ印刷するか、全てのスタートリストに前種目までの総合得点と順位を印字するかを選択することができます。

【マスターメンテナンス】 - 【DINST大会設定】内にある「印刷関連設定」タブから「表示・関連」項目内に新たに「混成競技スタートリストに総合得点と順位を印刷する」項目を追加。

競技会設定フォーム

表題(タイトル) | 大会種別・基本設定 | 番組・ルール関連 | その他 | 印刷関連設定 | 表示 |

表示・関連

印刷時に旧JISの置換えをする。【横⇒縦/数⇒英/課⇒課】など。
 リレーチームコード先頭2桁を都道府県コードとする。

混成競技スタートリストに総合得点と順位を印刷する

印刷しない すべてに印刷 最終種目のみ印刷

標準印刷設定

印刷フォントフェイス MS ゴシック f/f

外字印刷フォントフェイス MS ゴシック f/f

数字フォントを使用する。

数字フォントフェイス MS Pゴシック

正規フォントを使用。縦横比の違いすぎるフォントは使用しない。

印刷マージン(mm)

左 10.0 上 10.0 右 10.0 下 10.0

設定完了 キャンセル

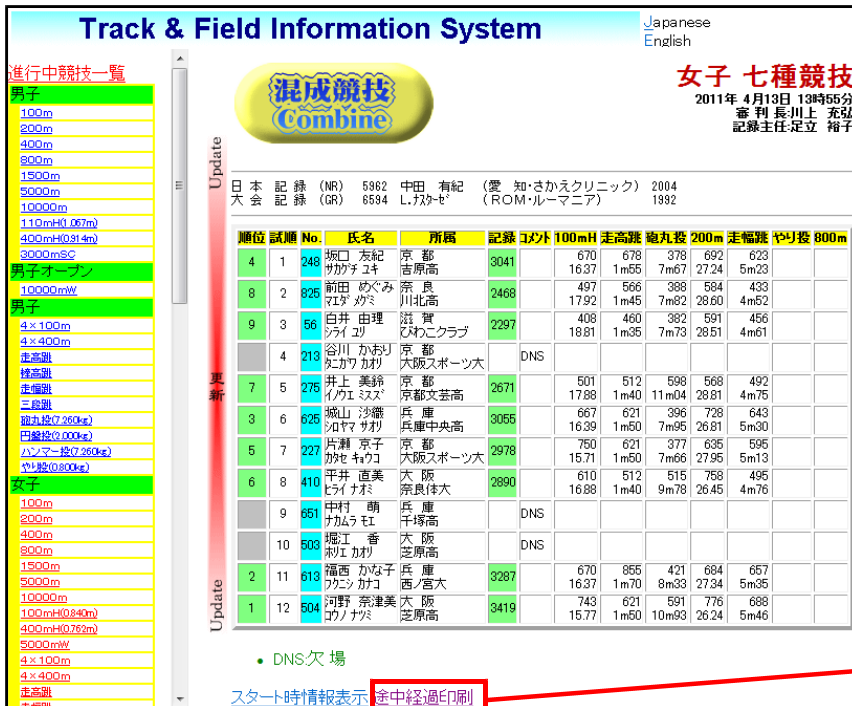
印刷しない・・・従来と同じ、印字されません
すべてに印刷・・・すべての混成競技スタートリスト
に前種目までの総合得点を印字
最終種目のみ・・・最終種目のスタートリストにのみ
前種目までの総合得点を印字

設定完了後は【設定完了】ボタンを押して終了。

4. 場内WEBシステムAthlewebの自動更新時動作を改良

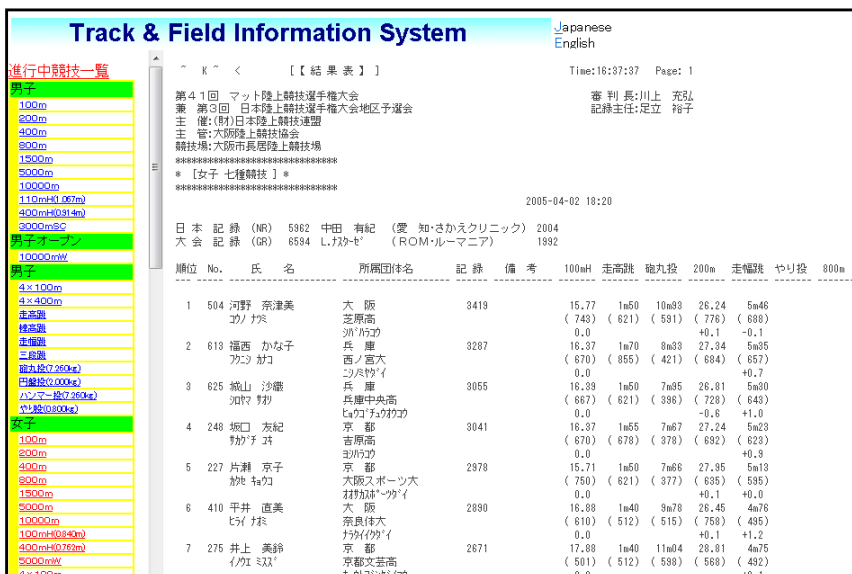
2) 場内WEBシステムAthlewebに混成競技総合得点の途中経過印刷イメージを表示可能

混成競技総合得点画面の下部に「途中経過印刷」リンクを設け、出力リストイメージを確認することができるようになりました。これにより、完了するまで表示できなかった記録順のリストの確認、個々の種目の風力の確認、所属によみがなを付けている場合は所属よみがなも確認することができるようになりました。



このリンクをクリックする

このリンクは、総合得点集計を実施し、リスト出力している場合に表示されます。1種目終了する毎に総合得点を必ず集計する必要があります。



←リスト表示イメージ

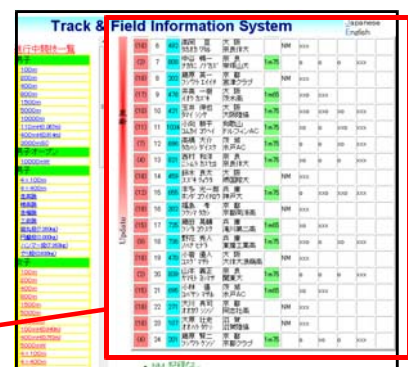
- ・記録順位順に表示
 - ・所属よみ
 - ・風力
- などが確認できる。

4. 場内WEBシステムAthlewebの自動更新時動作を改良

これまで競技中（記録入力中）のレースを参照している際に、出場競技者が多く一画面に入らず下方へスクロールして見たい場所に合わせているにもかかわらず、情報更新が行われるとスクロールが強制的に上（最初の位置）に戻されて、再度見たい位置まで移動するという煩わしい動作がありました。

改良を行い、情報更新が行われても画面が最上部へ移動しないようにしました。

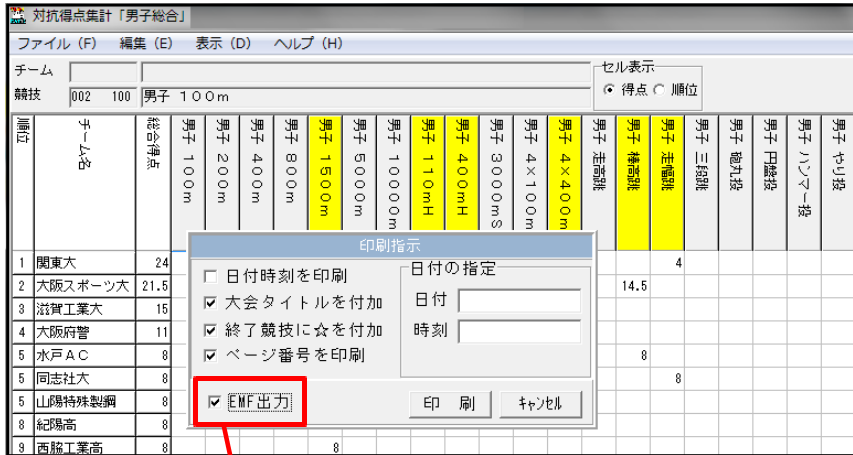
情報が更新されてもこの位置をキープ



5. 対抗得点表印刷イメージをメタファイル(EMF形式)に出力可能

昨年ご要望の多かった対抗得点表印刷イメージのEMF出力に対応いたしました。印刷指示画面に「EMF出力」チェックボックスを付けました。このチェックをつけて印刷を実行すると、ファイル名を付けて保存する画面が表示されますのでファイル名を付けて保存してください。

↓ EMFファイルイメージ



ここにチェックをつける

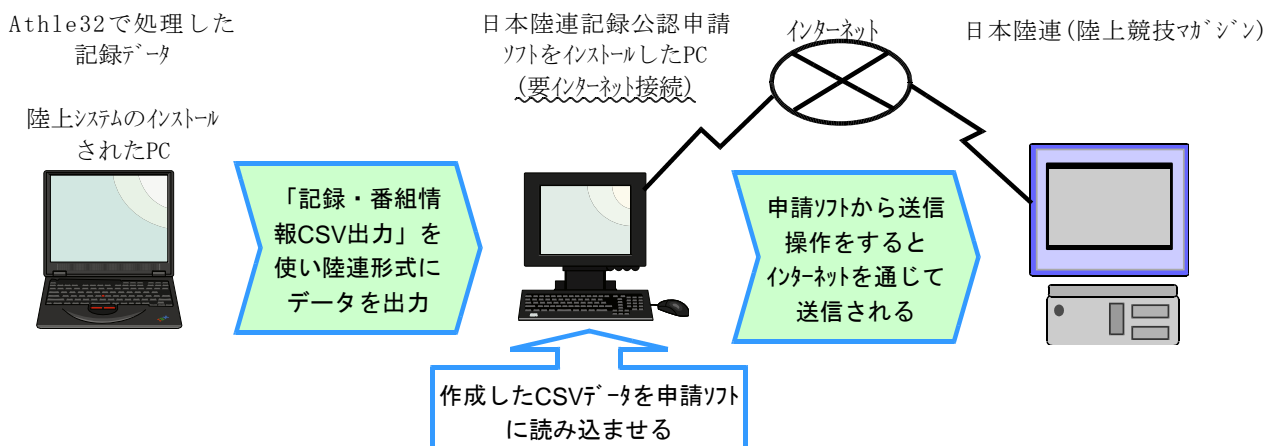
EMFはWindowsメタファイルと呼ばれる画像形式で、イメージとして印刷物を保存することができます。また、WordやExcelなど多くのソフトウェアから呼び出すことができます。チーム集が少ないときなどの加工にお役立て下さい。

6. 日本陸連記録公認電子申請ソフト対応CSV形式出力について

昨年試験的に実施されておりました日本陸連記録公認電子申請ソフトが2月の全国競技運営責任者会議においてCDで配布されました。これにより皆様のお手元にすでに申請用ソフトが届いているかと思えます。

陸上競技システムを販売しております各社は日本陸連よりこの申請ソフトに対応するよう指示を受け、弊社Athle32は昨年1月に対応いたしました。昨年の陸上システム更新ですでに皆様のシステムにはこの機能が組み込まれているかと思えます。ここでは申請手順のイメージと出力方法について説明をします。

●申請までのながれ



Athle32から直接CSVデータを送信することはできません。日本陸連より配布される専用のソフトをインストールしたPCにCSVデータを読み込ませ、インターネットに接続してデータを送信します。

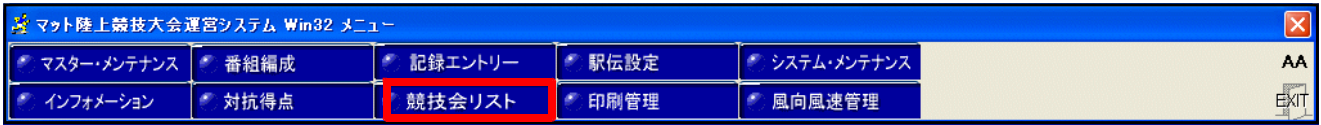
6. 日本陸連記録公認電子申請ソフト対応CSV形式出力について

●出力するデータの設定

Athle32でデータを参照出来る状態になっていることが前提となります。「単体」「ネットワーク」どちらの状態でも使用可能です。

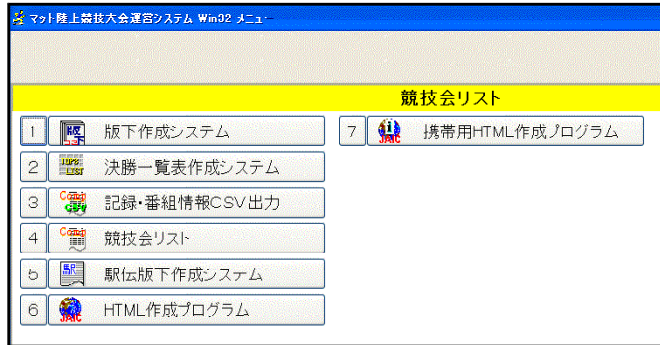
※参照先データの変更はAthle32マニュアルを参照して下さい。

●データの出力方法

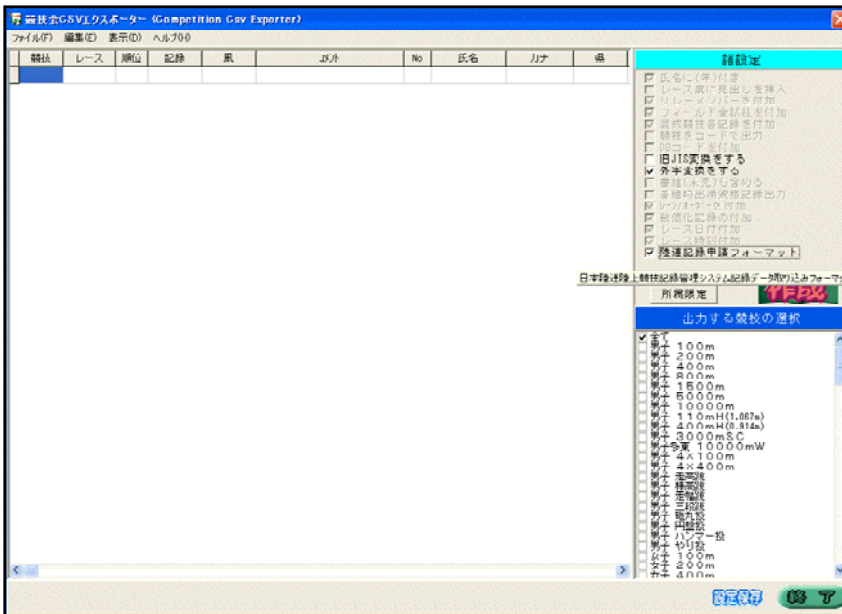


①メインメニューから【競技会リスト】《F8》を選択します。

②【3. 記録・番組情報CSV出力】をクリックし起動します。



③競技会CSVエクスポーターが起動します。



画面右側の「諸設定」にある「陸連記録申請フォーマット」にチェックを付けます。

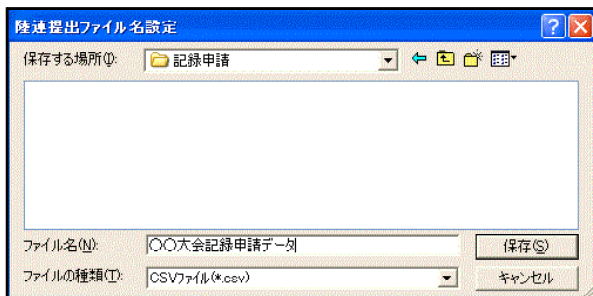
チェックを付けると、自動的に陸連記録申請用のフォーマットが設定されます。「旧JIS変換をする」「外字変換をする」以外の項目は無効になります。

出力する競技を限定したい場合は出力したい競技にチェックを付けます。通常は「全て」にチェックを付けていればOKです。

④DBコードの形式を「その競技者の西暦生年下2桁+月2桁+日2桁+任意の3桁」で作成している場合は、【ヘルプ】ボタンをクリックして表示される「DBから生年月日を生成する」にチェックを付けることで生年月日を出力することが出来ます。



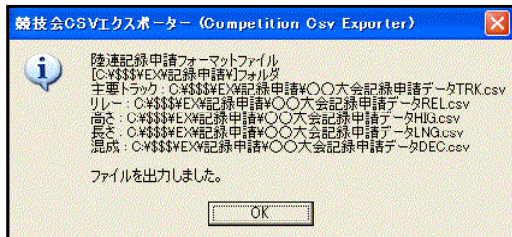
⑤画面左にある【作成】ボタンを押すとファイル名を設定する画面が表示されます。



ファイル名は任意に設定が可能です。大会名や実施日などを付けるとわかりやすくなります。保存したい場所を選択して、「ファイル名」を入力して【保存】を押します。

6. 日本陸連記録公認電子申請ソフト対応CSV形式出力について

⑥ CSV出力が開始されます。



作成が完了すると、左図のようなレポートが表示されます。

CSVファイル名設定時に入力したファイル名をベースに、「主要トラック」「リレー」「高さ」「長さ」「混成」など競技の種類によってCSVファイルが作成されます。

	競技種類	自動作成されるファイル名
1	主要トラック	***TRK.CSV
2	リレー	***REL.CSV
3	高さ	***HIG.CSV
4	長さ	***LNG.CSV
5	ロード	***ROD.CSV
6	混成	***DEC.CSV
7	駅伝	***EKI.CSV

***部分にはCSVファイル名設定時に入力したファイル名が使われます。

⑦ 作成終了後は【OK】ボタンをクリックしレポートを閉じ、【終了】ボタンをクリックして記録・番組情報CSV出力を終了します。



できあがったCSVデータを競技場のコンピューターなどから抜き取る際には、ウイルススキャンの実施されたUSBメモリ等を使用し、ウイルスを持ち込まないように注意して下さい。

すべてのレースを一括して印刷する

■新版下作成システムの印刷テクニック

昨年リリースしました「新版下作成システム」の印刷テクニックをご紹介します。

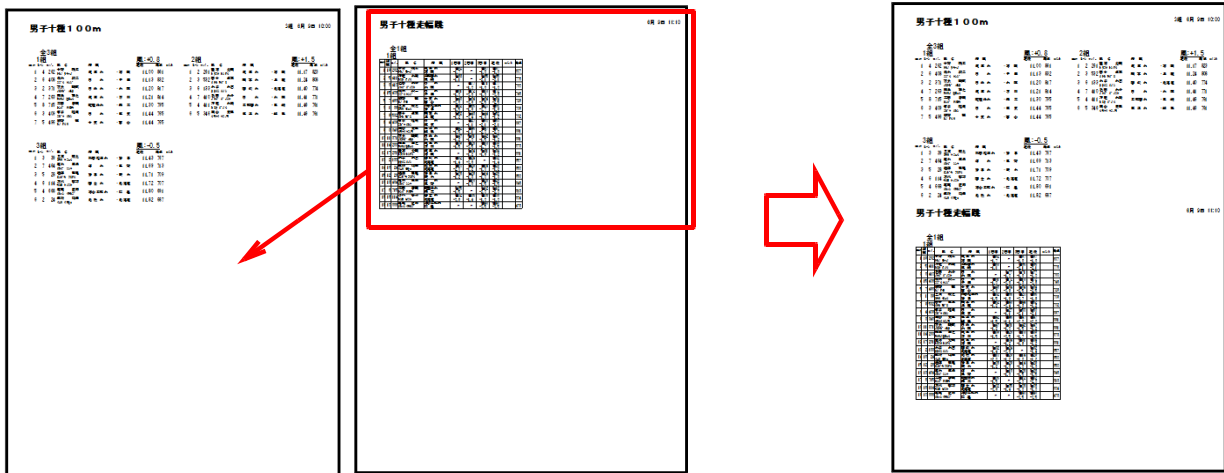
すべてのレースを一括して印刷する

すべてのレースを現在の（氏名桁数や出力項目などの）設定のまま、一括して印刷することができます。また、1競技に1組しかない場合など用紙の空いているスペースに次の競技を詰めて印刷することができます。この方法は、記録集を作成する場合などに便利です。
注意：プログラム原稿を作成する段階でこの方法を使うと、予定枠（準決勝や決勝の記入欄）が印刷されません。予定枠をあらかじめ設定しておく必要があります。

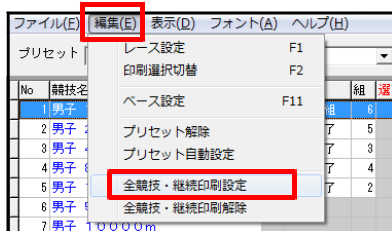
- ①版下作成システムメイン画面の左下にある【全選択】ボタンを押します。すべての競技に赤い菱形「◆」がつき、印刷対象となります。
- ②【プレビュー】ボタンを押すと読み込みと描画が開始されます。しばらくするとプレビュー画面が表示されますので、内容を確認して、よければ印刷して下さい。



プレビューを見ていく中で、例えば下図のような配置となる場合、十種100mのページの下の大きく開いた部分に十種走幅跳をくっつけて印字することができます。



画面上部のメニュー【編集】から【全競技・継続印刷設定】を選択して再度プレビューを実施して下さい。



タイムレース総合成績欄の印刷

タイムレースの総合成績欄を「決勝」の欄を利用して印字することができます。

タイムレース総合成績欄は印字する順位を指定することで、上位8人分の枠だけなど、出力する順位数も変更することができます。

男子 3000mSC

タイムレース 総合

順位	選手名	タイム	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

この部分

レース設定画面で設定します。まず、組分けされている予選（タイムレースと自動的に登録されている）にチェックを入れます。

「決勝」チェックボックスのすぐ右隣の白いエリアに「総合成績」と入力します。

印字したい人数を「上位」に続いて半角数値で入力します。

「決勝」チェックボックスにチェックを付けると指定した人数と決勝（予定）欄が現れます。

ページや左右など出力位置を調節してプレビューして下さい。

レース設定

10-男子 3000mSC

予選 タイムレース 2 組 0 着 0 年 11 月 04 日 17 : 35

2RD 準々決勝 組 着 年 月 日

準決勝 準決勝 組 着 年 月 日

決勝 総合成績 上位 8 人のみ 年 月 日

レース個別情報 継続印刷

ラウンド	組(状態)	ページ	左右	日付	時刻	人	備考
予選	1組(番組)	1	左	11/04/13	17:35	11人	
予選	2組(番組)	1	右	11/04/13	17:35	12人	
決勝	(予定)	1	左	//	:	8人	

レイアウト 左

11 年 04 月 13 日 17 : 35

途中時間設定 途中時間印刷 トラック用

701 200m
702 400m
703 600m
704 800m
705 1000m
706 1200m
708 2000m
712 3000m
715 4000m
718 5000m

印刷ページ 0 最終

印刷位置
 先頭 後尾 末尾

※後尾:レースに続けて印刷

横方向項目最大数 10

プレビュー・印刷

これで予定枠が出力されます。結果の場合でも人数を区切って、タイムレースの総合ランキングを印字することができます。

トラック風力あり競技のタイムレース結合処理と印刷

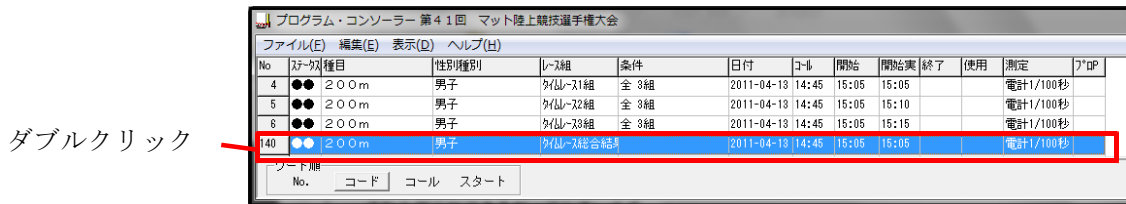
最近では長距離だけでなく短距離種目でもタイムレースをする機会が増えています。風力のある短距離レースをタイムレースで実施した場合、結合処理したあとそのまま版下作成を実施すると、一人目の風力のみが印字された版下ができあがってしまいます。

このような場合には、タイムレース総合成績のレースの測定区分を変更して下さい。

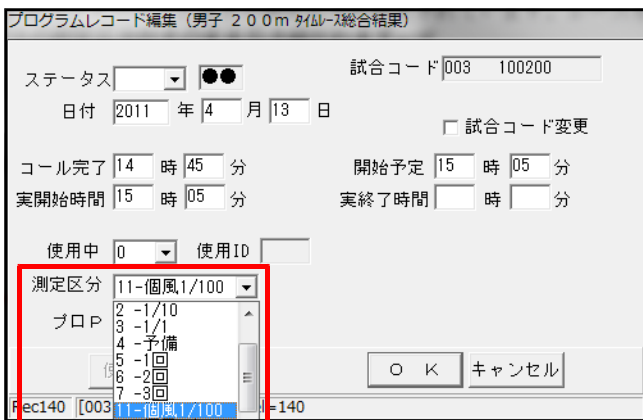
レースには「電計1/100秒」や「フィールド」などの測定区分が設定されています。レースを結合した場合には結合する元となったレースの測定区分がそのまま引き継がれます。

※注：この操作を競技場の陸上システムコンピューターで実施する場合は、メインメニューのボタンがすべて点灯しているコンピューターで行ってください。

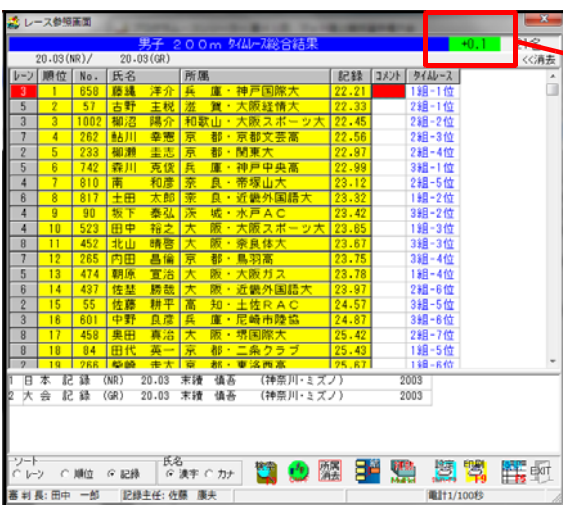
コンソラー画面から、結合が終了した「タイムレース総合結果」レースをダブルクリックします。



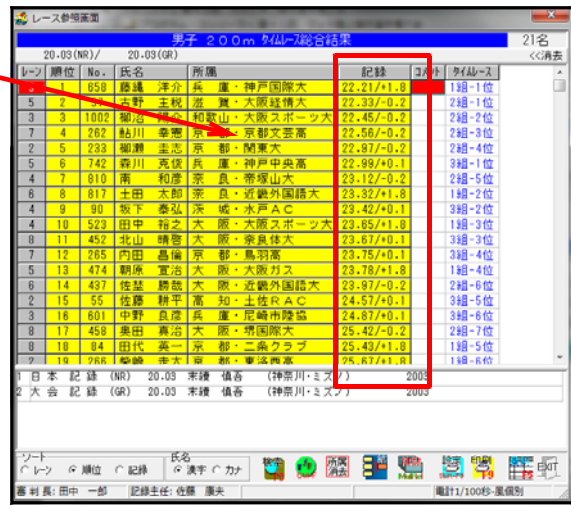
表示されたプログラムレコード編集画面の「測定区分」プルダウン(▼)をクリックして測定区分を「1/100」から「個風1/100」に変更し、【OK】ボタンで画面を終了します。



するとコンソラーから見た風力の表示が、記録の隣に表示されるようになります。変更前



変更後



トラック競技途中時間(LAP)の印刷

この状態で版下作成を実施すると、こちらにも風力が記録の隣に印字されるようになります。

男子 2000m		風速	風向	風速	風向	風速	風向
タイムレース総合	順位	レーク	氏名	所属	記録	3分	
1	658	藤嶋	洋介	兵庫・神戸国際大	22.21+0.8		
2	57	吉野	圭哉	滋賀・大阪経済大	22.33+0.2		
3	1002	柳海	陽介	和歌山・大阪スポーツ大	22.45+0.2		
4	264	蛭川	幸重	京都・京都文芸高	22.56+0.2		
5	233	柳瀬	圭志	京都・関東大	22.97+0.2		
6	442	森川	克俊	兵庫・神戸中央高	22.99+0.1		
7	810	内田	昌倫	奈良・帝塚山大	23.12+0.2		
8	817	土田	太郎	奈良・近畿外国語大	23.32+0.1		
9	99	坂下	泰弘	茨城・水戸A C	23.42+0.1		
10	523	田中	裕之	大阪・大阪スポーツ大	23.55+0.8		
11	452	北山	輝啓	大阪・奈良体大	23.67+0.1		
12	260	朝原	豊治	京都・鳥羽高	23.75+0.1		
13	474	朝原	豊治	大阪・大阪ガス	23.78+0.8		
14	437	佐藤	輝啓	大阪・近畿外国語大	23.97+0.2		
15	256	佐藤	輝平	富山・土佐R A C	24.57+0.1		

測定区分を
変更すると...
風力が個別に。

男子 2000m		風速	風向	風速	風向	風速	風向
タイムレース総合	順位	レーク	氏名	所属	記録	3分	
1	658	藤嶋	洋介	兵庫・神戸国際大	22.21+0.8		
2	57	吉野	圭哉	滋賀・大阪経済大	22.33+0.2		
3	1002	柳海	陽介	和歌山・大阪スポーツ大	22.45+0.2		
4	264	蛭川	幸重	京都・京都文芸高	22.56+0.2		
5	233	柳瀬	圭志	京都・関東大	22.97+0.2		
6	442	森川	克俊	兵庫・神戸中央高	22.99+0.1		
7	810	内田	昌倫	奈良・帝塚山大	23.12+0.2		
8	817	土田	太郎	奈良・近畿外国語大	23.32+0.1		
9	99	坂下	泰弘	茨城・水戸A C	23.42+0.1		
10	523	田中	裕之	大阪・大阪スポーツ大	23.55+0.8		
11	452	北山	輝啓	大阪・奈良体大	23.67+0.1		
12	260	朝原	豊治	京都・鳥羽高	23.75+0.1		
13	474	朝原	豊治	大阪・大阪ガス	23.78+0.8		
14	437	佐藤	輝啓	大阪・近畿外国語大	23.97+0.2		
15	256	佐藤	輝平	富山・土佐R A C	24.57+0.1		

トラック競技途中時間(LAP)の印刷

プログラム原稿を出力する場合には途中時間 (LAP) の枠を、記録 (途中時間入力あり) 完了時には途中時間の入った枠を印字することができます。
途中時間設定はレース毎に設定をします。

レース設定画面で「途中時間印刷」にチェックを付け
印字したい途中時間計測距離にチェックを付けます。

印刷ページと印刷位置、横方向最大出力数を選択して
プレビューして下さい。

5000mの場合の設定

途中時間設定 途中時間印刷 トラック用

701 200m

702 400m

703 600m

704 800m

705 1000m

706 1200m

709 2000m

712 3000m

715 4000m

718 5000m

4件

印刷ページ 0 最終

印刷位置
 先頭 後尾 末尾

※後尾: レースに続けて印刷

横方向項目最大数 10

男子 5000m		風速	風向	風速	風向	風速	風向
日本記録 (NR)	13:13.40	高岡	寿成	(山口・鐘紡)	1998		
大会記録 (GR)	13:14.18	S. 1st		(愛知・トヨタ自動車)	1998		
決勝	順位	レーク	氏名	所属	記録	5分	
1	432	佐藤	和伸	大阪・関東大	1() : . . .		
2	537	柳海	陽介	大阪・大阪府警	2() : . . .		
3	631	梅田	健吾	兵庫・山陽特殊製鋼	3() : . . .		
4	636	若本	裕輔	滋賀・積水化学	4() : . . .		
5	534	若原	真治	大阪・NTT西日本大阪	5() : . . .		
6	630	藤松	真	兵庫・山陽特殊製鋼	6() : . . .		
7	268	藤井	義幸	京都・東海高専	7() : . . .		
8	628	藤田	宇	兵庫・山陽特殊製鋼	8() : . . .		
9	614	上岡	宏次	兵庫・神戸市陸協	9() : . . .		
10	12	久文	真明	滋賀・日本精工	10() : . . .		

ラウンド	組	1000m	2000m	3000m	4000m
決勝		5:37	5:37	5:37	5:37
		2:50	6:40	8:30	11:40

★よくあるお問い合わせ★

1500mのラップタイム設定で「706 1200m」を選択していますが印字してみると1200mの距離の表示が空欄になってしまいます。

A. 印字には種目マスターに登録してある種目名を使用しています。この場合、種目マスターに「706:1200m」の登録がないと思われます。種目マスターはデータ固有の情報のため、今回追加したからといって、次の競技会を別のデータを元に作成すると、そのデータ固有の種目マスターとなってしまいうため再度登録が必要となります。

結果の場合は「途中時間印刷」にチェックを付けるだけで、入力されている途中時間をすべて印字します。

途中時間設定 途中時間印刷 トラック用

701 200m

702 400m

703 600m

704 800m

705 1000m

706 1200m

709 2000m

712 3000m

715 4000m

718 5000m

印刷ページ 0 最終

印刷位置
 先頭 後尾 末尾

※後尾: レースに続けて印刷

横方向項目最大数 10

ラウンド	組	1000m	2000m	3000m	4000m
決勝		5:37	5:37	5:37	5:37
		2:50	6:40	8:30	11:40

■走高跳・棒高跳の試技放棄入力について

優勝を決めた競技者の試技放棄「/」スラッシュ記号の入力

2月に開催された日本陸連「全国競技運営責任者会議」の競技部会で走高跳・棒高跳の試技放棄入力について、「自分の優勝が決定したためその時点で競技を終了する」という場合に、どのように「/」を入力すれば良いかという問題について提案がありました。弊社システムでは以下のように対応をお願いしたいと思います。

競技者 \ 高さ	2m04			2m07			2m21					
A	×	○		×	×	×						
B	○			○			○			/		
C	×	×	○	×	×	/						

この「/」の入力について

Athle32では高さ設定のないところに記号を入力することはできません。そのため、このB競技者の最後のスラッシュを登録するためには何らかの高さ設定が必要になります。

本来競技者から次の高さの申告があり、高さを設定する場面ではありますが、自身の優勝が決まり試技を放棄しているため次の高さの申告がありません。そのため、**競技注意事項の走高跳（棒高跳）のバーの上げ方で示されている「以降？cmずつ上げる」の記載に従って次の高さを入力して、その1回目に「/」を入力して下さい。**

注意：この「/」記号は国内ルールで行われる国内競技会にのみ適用されるものです。国際競技会では使用しません。

以上